

2018年1月11日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に和歌山ドクターヘリで搬送されたことのある患者さんとご家族へ

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

ドクターヘリ搬送された患者における qSOFA による院内死亡予測：後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 助教) 宮本 恭兵

3. 研究の目的

ドクターヘリ診療では患者さんの重症度を即座に把握して適切な搬送先病院を選択する必要があります。qSOFA スコア（血圧、呼吸数、意識状態からなるスコア）は重症度予測のための簡便なスコアですがドクターヘリ診療に応用できるかどうかは明らかになっていません。そこで本研究ではドクターヘリで搬送された患者さんの予後を qSOFA スコアが適切に予測できるかを検討します。qSOFA スコアが適切に予後を予測することが示されればドクターヘリ診療における適切な搬送先病院の選択に役立ち、患者さんの予後の改善につながることを期待されます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成15年1月1日から平成28年12月31日までの期間中に和歌山県ドクターヘリで当院への搬送を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの年齢、性別、診断名、病院前で測定された血圧、呼吸数、意識状態、心拍数、酸素飽和度、退院時転帰に関する情報です。

(3) 方法

データから算出される qSOFA スコアが退院時転帰をどの程度予測することができるかを評価します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 担当医師 宮本 恭兵

TEL : 073-441-0603 FAX : 073-447-2360

E-mail : gomadofu@wakayama-med.ac.jp